

●計画の柱1 生涯現役社会・健康寿命の延伸					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番	
重点施策 フレイル予防										
指標 要介護・要支援申請時の年齢					担当課					
基準値 79.7歳(令和元年度)					高齢者支援課					
実績					実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	要介護・要支援申請時の年齢は目標値を上回っているが、他の各指標の目標が達成していないことからコロナ禍が要介護認定申請に影響を及ぼした可能性が考えられる。自立支援・重度化防止に繋がる介護予防施策については、今後もこの指標を確認しながらフレイル予防や介護予防施策を継続して行っていく必要がある。						
目標値	79.8歳	79.9歳	80.0歳		△	継続	関連する施策を全体的に推進していく。	フレイルの認知度 【一般】令和元年：28.7% 令和4年：43.7% ↗ 【支援】令和元年：34.3% 令和4年：47.5% ↗ 運動器機能リスク高齢者 【一般】令和元年：7.5% 令和4年：9.5% ↗ 【支援】令和元年：51.2% 令和4年：52.5% ↗ 咀嚼機能リスク高齢者 【一般】令和元年：29.2% 令和4年：28.1% ↘ 【支援】令和元年：47.0% 令和4年：45.5% ↘	1	
実績値	80.2歳	80.6歳								
施策1 生涯現役社会の実現に向けた多様な就労・社会参加支援の促進					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査・介護事業所従事者調査	通番	
指標① シルバー人材センター就業実人数					担当課					
基準値 1,751人(令和元年度)					高齢者支援課					
実績					実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	コロナ禍による影響もあったと考えられるが、登録会員数は対前年度比で21人減少(R3:2,090人、R4:2,069人)、就業実人数は21人減少(R3:1,665人、R4:1,644人)しており目標値は未達である。雇用延長等が浸透しつつある社会情勢の中、会員の入会時年齢や平均年齢が上昇しており、会員ニーズと就業のマッチングや会員の高齢化に見合った業務や新しい就業形態の業務受注を進めることが必要となっている。						
目標値	1,850人	1,937人	2,012人		△	継続	高齢者の就業機会を提供する事業として広く認知されており、市の就労支援施策の中心的事業として引き続き取り組んでいく。	就業状況 【一般】令和元年：21.7% 令和4年：27.1% ↗ 【支援】 - 令和4年：3.8%	2	
実績値	1,665人	1,644人								
指標② 介護支援ボランティア登録箇所数					担当課					
基準値 100箇所(令和元年度)					高齢者支援課					
実績					実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度の実績値は、目標値を下回る形となった。既存の受け入れ施設である福祉施設等であっても、感染対策のためボランティアを受け入れることが困難な状況であり、新規に受け入れる施設の増加は厳しい状況であった。						
目標値	106箇所	114箇所	122箇所		△	継続	新型コロナウイルス感染症に対して規制緩和の流れのため、施設数の増や活動率の向上につなげる。	ボランティア参加状況 【一般】令和元年：11.2% 令和4年：9.8% ↘ 【支援】令和元年：5.1% 令和4年：7.0% ↗ ボランティアの受け入れ状況 ・すでに受け入れている【経営】 - 令和4年：20.1%	3	
実績値	101箇所	99箇所								
施策2 健康寿命の延伸に向けたフレイル予防の推進					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番	
指標① 事業対象者の維持・改善率					担当課					
基準値 55.2%人(令和元年度)					地域包括ケア推進課					
実績					実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	事業対象者の維持・改善率は、昨年に続き目標を達成した。より多くの高齢者が状態の維持及び改善を図ることができるよう、関係機関と連携し、事業の周知方法や適切なサービス利用の促進方法を検討していく。						
目標値	56%	57%	58%		○	継続	今後も自立支援・重度化防止に向けて、必要な方に早期にサービスを利用頂けるよう、地域包括支援センターや介護事業所と検討を行いながら、周知啓発やサービスの充実を図る。	介護保険サービス等の利用による変化 ・体調がよくなった【支援】令和元年：30.3% 令和4年：29.8% → ・精神的ストレスが減った【支援】令和元年：29.6% 令和4年：28.1% ↘ ・外出する機会が増えた【支援】令和元年：23.8% 令和4年：24.4% → ・意欲が出てきた【支援】令和元年：26.0% 令和4年：23.0% ↘ ・自分で身の回りのことができるようになった【支援】令和元年：20.0% 令和4年：18.9% ↘	4	
実績値	57%	57%								
指標② 社会参加得点					担当課					
基準値 75.1点(令和元年度)					高齢者支援課					
実績					実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	コロナ禍が影響したため計画策定時に基準とした令和元年度の実績値である75.1点を下回った。新型コロナウイルス感染症に対する対応も緩和され、高齢者を含め社会全体の外出は増加傾向にあるように見受けられる。今後、広報紙での呼びかけやオンラインも含めたイベント等の実施により社会参加を促す取り組みを行う。						
目標値	-	-	81.0点		△	継続	新型コロナウイルス感染症に対して規制緩和の流れのため、高齢者の社会参加を促す取り組みを引き続き推進していく。	スポーツの会参加状況 【一般】令和元年：27.0% 令和4年：25.2% ↘ 【支援】令和元年：13.4% 令和4年：13.8% → 趣味の会参加状況 【一般】令和元年：29.2% 令和4年：22.8% ↘ 【支援】令和元年：18.0% 令和4年：14.3% ↘ 学習の会参加状況 【一般】令和元年：9.3% 令和4年：8.5% → 【支援】令和元年：6.6% 令和4年：5.8% →	5	
実績値	-	60.2点								

◎：目標を大幅に達成できた
 ○：目標を概ね達成できた
 △：目標を達成できなかった、または課題の検討が必要である
 -：評価が困難である

↗：1%以上の増
 ↘：1%以上の減
 →：1%未満の増減

●計画の柱2 多世代型地域包括ケアシステムの推進					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番	
重点施策 地域包括ケアシステムの深化・推進										
指標 多分野に関わる課題を抱えた相談件数					担当課					
基準値		300件(令和元年度)			地域包括ケア推進課					
実績		計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度から開始した重層的支援体制整備事業に伴い、地域包括支援センターでも「属性を問わない相談(断らない相談)」(包括的相談支援)を実施してきたことから、多分野に渡る相談については目標値を超える件数に対応している。今後も地域包括支援センターにおいては、多分野に渡る課題を発見した際には、速やかに相談対応が可能な関係機関、または福祉まるごと相談窓口との連携を通じて課題解決にあたって取り組みを行う。						
目標値	400件	500件	600件	◎						
実績値	498件	809件								6
市民アンケート調査					地域包括支援センター 介護の相談窓口であることの認知度 【若年】令和元年度: 23.3% 令和4年: 26.1% ↗ 【一般】令和元年度: 26.9% 令和4年: 27.6% → 【支援】令和元年度: 41.8% 令和4年: 44.7% ↗ 【軽度】令和元年度: 31.6% 令和4年: 32.0% → 【重度】令和元年度: 35.3% 令和4年: 33.8% ↘ 健康・医療・福祉に関する相談窓口であること 【若年】令和元年度: 13.9% 令和4年: 14.1% → 【一般】令和元年度: 19.1% 令和4年: 18.7% → 【支援】令和元年度: 22.3% 令和4年: 23.4% ↗ 【軽度】令和元年度: 14.6% 令和4年: 14.4% → 【重度】令和元年度: 17.4% 令和4年: 17.1% →					
施策1 地域共生社会に向けた参加と協働の推進による社会的支援の体制強化					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番	
指標① 各種協力事業者数					担当課					
基準値		68箇所(令和元年度)			高齢者支援課					
実績		計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度の状況として、地域共創社会の実現に向けた連携に関する協定は継続している。高齢者の介護予防に資する活動や独自で高齢者を応援するサービス、地域活動団体向けコンテンツ、活動場所を提供している「元気応援キャンペーン」の協賛団体は48団体で1団体減少。高齢者等見守り協定については、2者増え29事業者との協定を締結している。なお、令和5年度になり高齢者等見守り協定事業者は3者増える見込みがある。						
目標値	77箇所	82箇所	87箇所	○						
実績値	77箇所	78箇所								7
市民アンケート調査					企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施したら利用したいか ・健康・医療・栄養などの情報提供 【一般】令和元年度: 47.8% 令和4年: 51.0% ↗ 【支援】 - 令和4年: 42.2% ・体操や趣味活動などができる教室 【一般】令和元年度: 31.0% 令和4年: 28.6% ↘ 【支援】 - 令和4年: 24.8% ・体操や趣味活動などのための活動場所の提供 【一般】令和元年度: 26.1% 令和4年: 25.7% → 【支援】 - 令和4年: 18.9%					
指標② 虐待通報先の認知度					担当課					
基準値		15%(令和2年度)			地域包括ケア推進課					
実績		計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	市では、松戸市虐待防止条例の施策として児童・障害分野とも連携を図りながら虐待防止にかかる周知啓発を進めた。地域包括支援センターでは、各種事業における虐待防止に関する情報の積極的な周知や、市民向け講演会の開催、虐待の要因として挙げられている認知症の関連事業において虐待防止について説明を行うなど、積極的な周知を図った。また、通報・相談時は通報者の情報は守られること、通報が支援のきっかけとなることを積極的に周知し通報のハードルを下げる取り組みを進めた。令和4年度実施の市民アンケートでは、通報先の認知度は約15%と目標に届かなかったが、上記取り組みを今後も推進し、通報・相談しやすい体制整備を進めていく。						
目標値	-	-	30%	△						
実績値	-	-								8
市民アンケート調査					虐待を発見した場合の通報先の認知度 【若年】令和元年度: 11.3% 令和4年: 12.2% → 【一般】令和元年度: 17.8% 令和4年: 16.3% ↘ 【支援】令和元年度: 14.9% 令和4年: 12.3% ↘ 【軽度】令和元年度: 13.1% 令和4年: 13.6% → 【重度】令和元年度: 16.8% 令和4年: 15.1% ↘ 今後も通報先の認知度向上に向けて取り組みを実施するとともに、虐待予防の観点も含め、相談先の周知や相談しやすい体制整備を進めていく。					
施策2 認知症施策の総合的な推進					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番	
指標① まつど認知症予防プロジェクト新規参加者数					担当課					
基準値		146人(令和元年度)			高齢者支援課					
実績		計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	地域包括支援センターなどがアンケート形式の認知症早期発見ツールである「DASC-21」を使用し、事業所や希望者のご自宅でアンケートを実施した。実施する事業所が限定されてきており目標に届かなかった。						
目標値	201人	222人	243人	△						
実績値	164	133人								9
市民アンケート調査					まつど認知症予防プロジェクトの認知度 【若年】令和元年度: 4.2% 令和4年: 2.4% ↘ 【一般】令和元年度: 2.2% 令和4年: 2.2% → 【支援】令和元年度: 2.0% 令和4年: 1.8% → 事実上地域包括支援センターのみの実施となっており、事業の在り方を検討し認知度を高めていく。					
指標② 認知症相談窓口の認知度(若年者)					担当課					
基準値		19.9%(令和2年度)			高齢者支援課					
実績		計画期間			実績に対する評価					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	認知症ガイドブック(ケアパス)について、認知症や物忘れについての相談先や受診ができる市内医療機関等を掲載した「相談窓口マップ版」を作成しており、支所や関係機関、各種事業にて配架、配付した。また、企業向け認知症サポーター講座を実施し若年者への周知を図っている。認知症研究会のワーキングにおいても、目標値の達成に向けて、新たな媒体の作成にむけた取り組みを開始している。今後も認知症の相談窓口の認知度向上に向けた取り組みを実施していく。						
目標値	-	-	24.9%	△						
実績値	-	19.1%								10
市民アンケート調査					認知症相談窓口の認知度 【若年】令和元年度: 19.9% 令和4年: 19.1% → 【一般】令和元年度: 24.1% 令和4年: 17.8% ↘ 【支援】令和元年度: 20.4% 令和4年: 19.2% ↘ 認知症ガイドブック(ケアパス)の認知度 【若年】令和元年度: 2.0% 令和4年: 2.0% → 【一般】令和元年度: 2.7% 令和4年: 2.4% → 【支援】令和元年度: 2.2% 令和4年: 2.0% → 目標値を達成したとしても、更に認知度を高めていく必要がある。					

施策3 地域包括支援センターの機能強化				今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番
指標① 地域の予防活動等社会資源の新規立ち上げ支援団体数				担当課	△	その他 コロナ禍において既存の社会資源の休止も多々見られたことから、社会資源の継続等に対する取組を評価指標とする。	地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向 ・参加意向あり 【若年】令和元年：32.6% 令和4年：30.9% ↓ 【一般】令和元年：35.8% 令和4年：31.5% ↓ 【支援】令和元年：23.9% 令和4年：22.7% ↓ 【軽度】令和元年：14.3% 令和4年：11.5% ↓	11
基準値	34件（令和元年度）			地域包括ケア推進課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	新型コロナウイルス感染症の流行により、令和元年度から大幅に社会資源の新規立ち上げ件数が減少し、目標値に大きく届かない状況となっている。一方、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化するなか、オンライン等の新しい生活様式を踏まえた取組等により、令和4年度は新規立ち上げ件数が増加した。				
目標値	40件	45件	50件					
実績値	16件	19件						
指標② 包括事業評価の平均点				担当課	◎	継続 事業評価を通じた地域包括支援センターの機能強化を継続していく。	地域住民の有志による地域づくりへの企画・運営（お世話役）としての参加意向 ・参加意向あり 【若年】令和元年：32.6% 令和4年：30.9% ↓ 【一般】令和元年：35.8% 令和4年：31.5% ↓ 【支援】令和元年：23.9% 令和4年：22.7% ↓ 【軽度】令和元年：14.3% 令和4年：11.5% ↓	12
基準値	3.62点（令和元年度）			地域包括ケア推進課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度は目標値を上回る結果となっている。事業評価の結果を基幹型包括の職員とともに振り返りを行い改善を行ったほか、オンライン等の新しい生活様式を踏まえた取組みを行った結果、包括全体の平均点の増加につながったと評価できる。				
目標値	3.63点	3.64点	3.65点					
実績値	3.62点	3.72点						
●計画の柱3 介護サービスの適正な供給				今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番
重点施策 多様な主体の確保					△	継続 次期計画への方向性について、目標値の設定や実績値の把握が難しい部分もあるため、指標の見直しも検討していく。	介護職のイメージとしてもっているもの ・体力的、精神的にきつそう 【若年】令和4年：83.7% ↓ 【一般】令和元年：66.9% 令和4年：64.1% ↓ ・給与など雇用面での待遇が悪そう 【若年】令和4年：70.2% ↓ 【一般】令和元年：53.7% 令和4年：48.3% ↓ ・高齢化により今後需要が伸びていく 【若年】令和4年：62.5% ↓ 【一般】令和元年：60.0% 令和4年：55.9% ↓	13
指標 施設等の整備に必要な介護従事者数				担当課				
基準値	70人（令和2年度）			介護保険課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度整備分および令和5年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、（看護）小規模多機能型居宅介護および定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、応募が募集数を満たさなかったため目標に届かなかった。				
目標値	128人	106人	150人					
実績値	58人	69人						
施策1 在宅介護サービスの充実と在宅医療・介護連携の推進				今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番
指標①（看護）小規模多機能サービスの定員総数				担当課	△	継続 引き続き在宅介護サービスの整備・充実を図る。	小規模多機能型居宅介護 【若年】知っていた：19.2% 利用してみたい：55.5% 【一般】知っていた：16.8% 利用してみたい：40.7% 【支援】すでに利用している：3.2% 知っていた：21.2% 利用してみたい：22.7% 【軽度】すでに利用している：7.4% 知っていた：25.4% 利用してみたい：21.2% 【重度】すでに利用している：13.5% 知っていた：35.3% 利用してみたい：16.4%	14
基準値	508人（令和元年度）			介護保険課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度整備分および令和5年度整備分の地域密着型サービス事業者の公募を行ったが、（看護）小規模多機能型居宅介護について、応募が募集数を満たさなかったこと、また、事業所の廃止があったことから、目標に届かなかった。				
目標値	595人	682人	740人					
実績値	532人	512人						
指標② 在宅医療を支援する医療機関数				担当課	◎	継続 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築を推進するため、「かかりつけ医の在宅医療スタートアップ支援」事業等を通じて、医療機関の在宅医療への新規参入を促進していく。	在宅医療の認知度 【若年】令和元年：50.0% 令和4年：48.1% ↓ 【一般】令和元年：51.8% 令和4年：48.4% ↓ 【支援】令和元年：46.3% 令和4年：46.1% → 【軽度】令和元年：43.4% 令和4年：48.2% ↑ 【重度】令和元年：58.6% 令和4年：56.7% ↓ 在宅医療をすでに利用している 【支援】令和元年：4.2% 令和4年：4.4% → 【軽度】令和元年：11.1% 令和4年：13.7% ↑ 【重度】令和元年：24.5% 令和4年：30.4% ↑	15
基準値	43箇所（令和2年度）			地域包括ケア推進課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値にわずかに届かなかった。在宅医療の新規参入支援等を目的として、松戸市在宅医療・介護連携支援センターが診連携（診療所間連携）による24時間対応体制構築の調整・支援、医師の在宅診療を補助する訪問看護師の配置調整、在宅医療に関する診療報酬や介護報酬に関する各種届出や請求事務の支援等を行った。令和4年度は17医療機関等に延べ29回の支援を行っており、引き続き新規参入等への支援を行っていく。				
目標値	45箇所	47箇所	49箇所					
実績値	44箇所	44箇所						
施策2 地域の実情に合わせた住まいの確保と施設整備				今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	市民アンケート調査	通番
指標① 特養新規入所者数				担当課	◎	継続 引き続き、多様化する高齢者のニーズの状況を把握するとともに、地域の実情や中長期的視点も合わせて勘案し、施設・居住系サービスの整備の検討を行う。	介護が必要になったとき「特養」で介護を受けたい 【若年】令和元年：4.2% 令和4年：11.3% ↓ 【一般】令和元年：14.6% 令和4年：14.6% → 【支援】令和元年：17.5% 令和4年：16.7% → 【軽度】令和元年：16.9% 令和4年：14.3% ↓ 【重度】令和元年：21.5% 令和4年：13.5% ↓	16
基準値	412人（令和元年度）			介護保険課				
実績 計画期間 実績に対する評価								
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年3月に定員が40床増となったこともあり、基準値を上回り目標も達成した。				
目標値	450人	470人	485人					
実績値	454人	481人						

施策3 介護人材の確保・定着及び資質向上に向けた取り組みの推進					今期計画の評価	次期計画への方向性	方向性へのコメント	介護事業所従事者調査（経営者・管理者）	通番
指標① 介護人材育成事業利用者数					担当課				
基準値	36人（令和元年度）				介護保険課				
実績	計画期間				実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標値を達成した。一方、制度を利用する法人に偏りも見られるため、引き続き周知を図り、介護人材育成事業を通じて未経験者の参入の促進を図る。					
目標値	47人	52人	57人						
実績値	51人	61人							
					○	継続	事業者に対して、ケア倶楽部の掲載、広報やプッシュ通知メール等様々な媒体を通じ本事業の周知を図り、認知度を向上させる。	外部研修受講や資格取得に要する費用の助成 【経営】令和元年：45.6% 令和4年：44.8% → 外部研修や資格取得のための講義等を受講できる人員体制の整備 【経営】令和元年：38.8% 令和4年：33.6% ↓	17
指標② 「介護助手」採用事業者数					担当課				
基準値	70箇所（令和2年度）				介護保険課				
実績	計画期間				実績に対する評価				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	アンケート調査の結果、基準値および目標値を下回ったが、介護助手を採用している割合は21.4%（70/327箇所）から22.8%（61/268箇所）に増加した。介護助手に限らず広くWEB上でのマッチングを強化する情報提供基盤の構築を行い、広報まつど「介護の日」介護保険特集号にて周知を行った。引き続き周知を行っていく。					
目標値	—	—	100箇所						
実績値	—	—							
					—	継続	事業所アンケート調査にて、介護助手の需要を確認するとともに、タスクシェア・タスクシフティングの有効性についても調査する。『在宅医療・介護事業所検索システム』における介護施設の求人・介護助手・ボランティア募集等の情報を事業者へ周知していく。	介護助手の採用状況 【経営】令和元年：21.4% 令和4年：22.8% ↑	18